

市議会 9 月定例会

条例改正や補正予算など 28 議案を審議

市議会 9 月定例会が 9 月 2 日(金)から 10 月 7 日(金)までの 36 日間の日程で行われました。条例改正や補正予算など 28 案件が審議され可決されました。ここでは、主な議案を紹介します。



議案

平成 27 年度一般会計歳入歳出決算などの認定

平成 27 年度の一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、介護保険特別会計、土地取得特別会計、十里木高原簡易水道特別会計、下水道事業特別会計、墓地事業特別会計、水道事業会計、それぞれの歳入歳出決算が認定されました。決算の詳細は、4 ページから 9 ページまでをご覧ください。

人権擁護委員の推薦

12 月 31 日に任期満了となる池田宗久委員、川口美津子委員、大森紀行委員を引き続き推薦することが適任とされました。

平成 27 年度市水道事業会計未処分利益剰余金の処分

平成 27 年度の市水道事業会計の未処分利益剰余金 2 億 5,705 万 6,921 円を減債積立金と資本金として処分することが議決されました。

市固定資産評価審査委員会委員の選任

9 月 26 日に任期満了となった勝又規雄委員を引き続き選任することが同意されました。

市教育委員会委員の任命

9 月 30 日に任期満了となった桃井昭一委員、眞田平芳委員、庄司伸子委員を引き続き任命することが同意されました。

市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定

いじめ問題対策連絡協議会などを設置するため、条例を制定しました。いじめ防止対策推進法に基づき、いじめの防止や早期発見、いじめに対する措置などの対策を、総合的かつ効果的に推進することが目的です。

市民体育館条例の一部改正

市民体育館の改修に伴い、条例の改正をしました。



市民体育館健康増進ルーム

補正予算

平成 28 年度一般会計補正予算 (第 4 回)

既定の予算総額から 3 億 5,800 万円を減額し、歳入歳出予算総額を 210 億 6,600 万円とするものです。

補正予算の主な内容は次のとおりです。

1 「住みたいまち裾野」のまちづくり

● 裾野らしいデザインのまち すその

▶ 公共施設等マネジメント支援システム導入事業

公共施設等総合管理計画で掲げた総量などの縮減、長寿命化を図るため、市が所有する公共建築物の基本情報などを施設カルテなどで一元的に管理し、分析できるシステムを導入します。

▶ 裾野駅西口駅前広場整備事業

裾野駅西口周辺の区画整理事業の進捗に合わせ、利便性を高めた駅前広場の早期供用開始を図るため、裾野駅西口臨時駅前広場の整備を前倒して実施します。

●住みたくなるまち すその

▶宅地分譲促進事業

宅地分譲事業補助金の申請件数が、予定件数を上回ることが見込まれるため増額し、市街化区域内の未利用地の優良宅地化を促進します。

▶市道 1-15 号線道路改良事業

渋滞緩和対策として、市道 1-15 号線への右折レーン設置などの交差点改良工事に伴う測量業務委託を実施します。

▶防災体制整備事業

防災対策の強化や災害医療などを確保するため、自主防災会の防災資機材や消防団安全装備品を整備。さらにドクターヘリの安全と安定的な運航を確保するため、順天堂大学医学部附属静岡病院のドクターヘリ格納庫整備事業の一部の補助など、地域の防災対策を多面的に推進します。



裾野駅西口駅前広場



市道 1-15 号線

2 すべての起点となるひとづくり

●みんなで子育てするまち すその

▶B 型肝炎ワクチン定期予防接種事業

予防接種法施行令などの改正に伴い、現在、任意接種である B 型肝炎ワクチンが、定期予防接種対象疾患に追加されたため、平成 28 年 4 月 1 日以降に生まれた 1 歳未満児を対象に、10 月 1 日から定期予防接種として実施します。

全員協議会行政報告

平成 28 年熊本地震の被災地（^{かしまち}嘉島町）支援

熊本県上益城郡嘉島町長から平成 28 年熊本地震被災に対する職員派遣について、礼状が届きました。市では、地震発災後に熊本地震静岡県現地支援本部要員派遣の要請を受け、計 8 人の職員を嘉島町へ派遣し、被災地支援を行いました。

嘉島町では、日常業務の運営が平常に戻り始めました。状況は落ち着いてきましたが、引き続き、現地の実状にあった被災地への支援を行います。派遣した職員の報告や経験を、当市の避難訓練計画や避難所運営などに反映し、大規模災害に備えていきます。

●嘉島町長からの「礼状」全文

裾野市長 高村 謙二 様

謹啓 時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたびの「平成 28 年熊本地震」につきましては、多大なご支援をたまわり、衷心よりお礼申し上げます。

今回の地震で嘉島町は 4 月 14 日に震度 6 弱、同 16 日に 6 強と大きな揺れに連続して見舞われ、死者 4 人をはじめ道路損壊、家屋倒壊など甚大な被害を受けました。

地震発生直後から、本町は総力を挙げて被災者の支援、被災状況の確認などに当たりましたが、経験したことのない被害の大きさもあり、職員 85 人という小規模自治体にとっては手が回りかねる状況でした。

そうした中で、貴市から応援の職員を派遣していただきました。

おかげによりまして、家屋被害調査や支援申請の受付など、多数の人員を要する業務もほぼ終了に近づき、日常業務の運営が平常に戻りつつあります。

応急仮設住宅への入居もほぼ終了し、状況は落ち着きつつあるとはいえ、解決すべき課題も残っています。

今後とも一層のご支援ご指導をお願い申し上げますとともに、意を尽くしますが書中をもちましてお礼のあいさつといたします。

謹 白

平成 28 年 8 月

熊本県嘉島町長 荒木泰臣